

# 呼吸器外科手術における術後悪心嘔吐に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年 10月 25日 ～ 2024年 3月 31日

## 〔研究課題〕

呼吸器外科手術における術後悪心嘔吐に対する薬剤投与計画の工夫とその効果の検討

## 〔研究目的〕

全身麻酔による手術では、麻酔薬や鎮痛薬など多くの薬剤を必要とします。それらの影響で手術後に悪心や嘔吐が発生し、術後患者さんに対して苦痛を伴うことがしばしばあります。残念ながら、日本の保険診療では術後の悪心嘔吐に対して使用できる薬剤は非常に限られており、海外のガイドラインで定められているような薬剤はほとんど使用できません。それでも術後の悪心嘔吐は患者さんにとって非常に苦痛な有害事象であるため、我々は限られた薬剤のなかでも薬剤投与計画を工夫しながら対応してきました。具体的には、Apfelスコアという術後悪心嘔吐の起こりやすさを予測する数値があり、我々はそれを用いることで術後悪心嘔吐の起こりやすい患者さんを予測し、2020年9月1日より独自に工夫した薬剤の投与計画を立てました。今回は、その工夫がはたしてどの程度患者さんの苦痛を和らげることができたのか、また今後さらにどういった工夫が必要なのかを検討することを目的とします。

## 〔研究意義〕

前述のとおり、我々が行った試みがどの程度効果があったのか、今後改善すべき点は何かを探ることで、術後悪心嘔吐で苦しむ患者さんを減らすことができると考えています。

## 〔対象・研究方法〕

2020年6月1日から2021年5月31日の間に、帝京大学医学部附属病院・呼吸器外科で手術を受けられた患者さんを対象としています。我々が今回の取り組みを始めたのが2020年9月1日からですので、開始前後の患者さんの術後悪心嘔吐の程度や食事摂取量を比較することで、今回の取り組みの効果を評価します。

実際に使用するデータは入院していただいたときの診療記録を参考にさせていただくため、追加で検査をおこなったり情報聴取をおこなったりすることはありません。具体的には年齢、身長、体重、性別、喫煙歴、術後悪心嘔吐の既往、乗り物酔いの有無、神経疾患、頭痛、肩こり、アルコールの頻度、既往疾患、採血結果(赤血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、白血球数、白血球分画、アルブミン値、CRP)、手術診断、手術方法、麻酔方法、麻酔時間、手術時間、術中術後使用薬剤、酸素使用時間、使用鎮痛薬です。ただし、この研究結果を発表するときにはすべてが集計値として発表されるため、結果の公表から個人を特定することは不可能であると考えています。もしこのデータ集計からの除外を希望する方は希望に沿って対応させていただきますが、すでに結果を報告した後には希望に添えない場合もありますので、ご理解いただければと思います。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座 呼吸器外科グループ

## 〔個人情報の取り扱い〕

本研究ではデータを収集させていただく時点で氏名と診療番号は用いず、決して個人を特定できないような研究番号へと加工します。この研究成果を発表する学会や論文では、研究全体の集計値として公表するため、個人を特定されることはありません。本研究は、帝京大学医学系研究倫理委員会の承認を得て行われます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

#### 問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 出嶋 仁	帝京大学医学部 外科学講座 呼吸器外科グループ 助教
研究分担者： 田中美里	帝京大学医学部附属病院 臨床試験治験統括センター 係員
渡邊智博	帝京大学大学院医学研究科 大学院生

住所： 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) [内線 7345]